

ふりはたひろのぶ 降幡廣信について

昭和4年(1929年)生まれ 91歳(2020年5月現在)

現 山共建設株式会社会長
株式会社降幡建築設計事務所会長

家業の「山共建設」の前身は、木材業の「山共組」で、祖父の降幡商次郎が明治後期創業したものだった。廣信は父の二代目・降幡喜内の後を継いで、昭和35年(1960年)31歳で三代目の社長となり、その後、平成11年(1999年)長男・降幡真に四代目の社長を譲って、現在会長の立場にある。

一方、「降幡建築設計事務所」は、昭和38年(1963年)降幡廣信が創設し初代社長を務めたが、平成23年(2011年)長男・降幡真に二代目社長を譲って、会長になって今日に至っている。

永い間、我が国の建築の仕事は「新築」と「復元」の二者択一の世界だったが、「再生」という新しい分野が、降幡廣信によってもたらされた。そのことにより1990年、民家再生の方法論を確立に至った多年の業績により「日本建築学会業績賞」を受賞した。この結果、廃屋に等しくなった民家を再生して、住み続ける事が行われる時代になった。同時に、古い建築への日本人の意識を大きく変えたことに貢献している。